

令和5年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会

なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を

目指します。

(1) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(2) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(3) 元氣になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(4) 根気強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育を行い職員みんなで福祉サービス対象者の皆さんに
良質なサービスを展開できるようにしていく。

感染症にも配慮しながら、子ども中心に活動を展開し、新たな活動にチャレンジして参

加いただく皆さんによかったと思っていたダレル行事を行って参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育・保育理念・方針の明	感染症も落ち着き参集型がで行うことができているが、以前のように

文化と周知	な活動ではなく、クラス単位の保護者の皆様にも負担の少ない活動を行っていく。
② 認定こども園教育・保育要領への対応	主体的に活動できる環境を工夫し、提供して行った。外部からの受け入れも積極的に行った。
③ 職員の資質・保育の質の向上	不適切保育に関する研修や自分の保育を振るかえることができるような園内研修を行っていった。園外研修に参加した職員が研修内容等も開示していった。
④ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学をさせて頂き、小学校の体験を行った。光輪会は学童の子ども達と接する機会が多いが、実際の学校に行く体験は学校を身近に感じられるため、子どもたち同士による成長の見通しは立ちやすいのではないかと感じている。小学校との連携も情報交換を密にできる活動を今後も進めて参りたい。
⑤ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑥ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

体験や経験することを大切に考え保育を行っていった。行事などは参集型となり行うことができてきたが、以前のような園全体で行うような活動は万が一感染症が発生してしまう

リスクや、保護者の負担軽減を考えるとクラス単位の期間を区切った行事とするようにし

ていくことが望ましいと考えた。保護者の皆様もゆっくりと余裕をもって参加でき子ども

の成長の機会をご覧いただけたのではないかと感じている。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共

有と自己管理について学んでいった。しっかりと自分の保育を振り返ることをするように

してまいりたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	クラスの保育や自分の保育を振るかえることができおるようにディスカッション等も増やしていく。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	0， 1， 2 歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やしながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
------	----

3－①	他の園等にも参加する機会があったが、光輪会の活動は狙いもしっかりしており感動する行事や教育保育を行えていると感じている。何のためにこの活動を行うのかもしっかり説明できていると思う。
3－②	活動の様子も写真や「あしあと」などいつでも見れるように工夫されている。教育保育内容の開示は保護者にも安心感を与えるものであると感じる。続けていていただきたい。
3－③	保育内容検討委員会など不適切な保育があったときや、怪我等があった時など内容を検討する委員会ができていて組織的に検討をしていることが伝わる。研修等も目的をもって行えているのではないだろうか。
3－④	地域とのつながるを大切に園の運営を行えていると感じています。いろいろな地域内の行事等にも積極的に参加されていて、近隣園も巻き込んだ交易な取り組みも行われているのが色々なところで聞かれています。小学校とも密接した連携を引き続き行って頂きたいです。
3－⑤	新年早々に起こった能登の震災や、いつ大きな災害が起こるかわからない状況です。引き続き子ども達の安全を守るべく努力して行って下さい。
3－⑥	裁判のお話等もありましたが、もちろん事故などが起きないように教育保育を行うのはもちろんのことですが、しっかりと小さな事故も検討して、大事故につながらないようにしていただきたい。過去のこともしっかりと反省をし、再度起こさないことに尽力してほしい。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様は光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等を

お話ししご意見を頂いた。

中長期計画などいろいろなビジョンを聞かせていただいた。特にこれからの教育保育制度が少子化によりどんどん進んでいき、園自体が考えた運営を行い新たな提案をしていかなければならないことも理解した。こども達、保護者の方、園にとって最善の方法とは何なのか、考えて最善の方法を検討していただきたいです。

活動内容な通年見させていただいたがどれも工夫をした行事を行っていた。入園したいと相談を受けることも多々あるくらい良い園であると話を聞くことが私たちもうれしく感じている。皆さんに親しまれ必要とされ、喜ばれる園であり続けていただきたいです。

職員の皆様のご努力に感謝申し上げます。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。和光なかよしこども園の借入金の30年間の返済を25年までに

短くするように、繰り上げ返済を行ってまいりたい。食育や子ども達の作物の作ることから、収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。

令和5年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会

第二なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を

目指します。

(5) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(6) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(7) 元氣になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(8) 根氣強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育を行い職員みんなで福祉サービス対象者の皆さんに
良質なサービスを展開できるようにしていく。

感染症にも配慮しながら、子ども中心に活動を展開し、新たな活動にチャレンジして参

加いただく皆さんによかったと思っていたダレル行事を行って参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑦ 教育・保育理念・方針の明	感染症も落ち着き参集型がで行うことができていますが、以前のように

文化と周知	な活動ではなく、クラス単位の保護者の皆様にも負担の少ない活動を行っていく。
⑧ 認定こども園教育・保育要領への対応	主体的に活動できる環境を工夫し、提供して行った。外部からの受け入れも積極的に行った。
⑨ 職員の資質・保育の質の向上	不適切保育に関する研修や自分の保育を振るかえることができるような園内研修を行っていった。園外研修に参加した職員が研修内容等も開示していった。
⑩ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学をさせて頂き、小学校の体験を行った。光輪会は学童の子ども達と接する機会が多いが、実際の学校に行く体験は学校を身近に感じられるため、子どもたち同士による成長の見通しは立ちやすいのではないかと感じている。小学校との連携も情報交換を密にできる活動を今後も進めて参りたい。
⑪ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑫ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

体験や経験することを大切に考え保育を行っていった。行事などは参集型となり行うことができてきたが、以前のような園全体で行うような活動は万が一感染症が発生してしまう

リスクや、保護者の負担軽減を考えるとクラス単位の期間を区切った行事とするようにし

ていくことが望ましいと考えた。保護者の皆様もゆっくりと余裕をもって参加でき子ども

の成長の機会をご覧いただけたのではないかと感じている。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共

有と自己管理について学んでいった。しっかりと自分の保育を振り返ることをするように

してまいりたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	クラスの保育や自分の保育を振るかえることができおるようディスカッション等も増やしていく。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	0， 1， 2 歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やしながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
------	----

3－①	他の園等にも参加する機会があったが、光輪会の活動は狙いもしっかりしており感動する行事や教育保育を行えていると感じている。何のためにこの活動を行うのかもしっかり説明できていると思う。
3－②	活動の様子も写真や「あしあと」などいつでも見れるように工夫されている。教育保育内容の開示は保護者にも安心感を与えるものであると感じる。続けていていただきたい。
3－③	保育内容検討委員会など不適切な保育があったときや、怪我等があった時など内容を検討する委員会ができていて組織的に検討をしていることが伝わる。研修等も目的をもって行えているのではないだろうか。
3－④	地域とのつながるを大切に園の運営を行えていると感じています。いろいろな地域内の行事等にも積極的に参加されていて、近隣園も巻き込んだ交易な取り組みも行われているのが色々なところで聞かれています。小学校とも密接した連携を引き続き行って頂きたいです。
3－⑤	新年早々に起こった能登の震災や、いつ大きな災害が起こるかわからない状況です。引き続き子ども達の安全を守るべく努力して行って下さい。
3－⑥	裁判のお話等もありましたが、もちろん事故などが起きないように教育保育を行うのはもちろんのことですが、しっかりと小さな事故も検討して、大事故につながらないようにしていただきたい。過去のこともしっかりと反省をし、再度起こさないことに尽力してほしい。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様は光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等を

お話ししご意見を頂いた。

中長期計画などいろいろなビジョンを聞かせていただいた。特にこれからの教育保育制度が少子化によりどんどん進んでいき、園自体が考えた運営を行い新たな提案をしていかなければならないことも理解した。こども達、保護者の方、園にとって最善の方法とは何なのか、考えて最善の方法を検討していただきたいです。

活動内容な通年見させていただいたがどれも工夫をした行事を行っていた。入園したいと相談を受けることも多々あるくらい良い園であると話を聞くことが私たちもうれしく感じている。皆さんに親しまれ必要とされ、喜ばれる園であり続けていただきたいです。

職員の皆様のご努力に感謝申し上げます。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。和光なかよしこども園の借入金の30年間の返済を25年までに

短くするように、繰り上げ返済を行ってまいりたい。食育や子ども達の作物の作ることから、収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。

令和5年度自己評価結果公表シート

社会福祉法人 光輪会

和光なかよしこども園

1. 本園の教育・保育目標

『耐える心と乗り越える力』を培う教育・保育を目標に、心身共に健康で心豊かな園児の育成を

目指します。

(9) 挨拶のしっかりできる子ども

挨拶はコミュニケーションの第一歩です。明るく元気に誰にでも挨拶が出来る子どもを育てます。

(10) 人の話をしっかり聞ける子ども

乳児期から絵本の読み聞かせを多く取り入れます。落ち着いた環境の中で、人の話を聞く態度を身に付け、自分で表現する力を育てます。

(11) 元氣になかよく遊べる子ども

散歩や戸外遊びを通し、四季折々の自然に触れのびのびとした環境の中で、遊びを見つける力、遊びを生み出し発展させていける力、無から有を生み出す力を育てます。

(12) 根氣強くやり通せる子ども

子どもの可能性を信じ、色々な事に取り組み小さな頑張りを褒め、最後までやり通す意欲を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育方針・目標に沿った保育を行い職員みんなで福祉サービス対象者の皆さんに良質なサービスを展開できるようにしていく。

感染症にも配慮しながら、子ども中心に活動を展開し、新たな活動にチャレンジして参

加いただく皆さんによかったと思っていたダレル行事を行って参りたい。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
⑬ 教育・保育理念・方針の明文化と周知	感染症も落ち着き参集型がでを行うことができているが、以前のよう な活動ではなく、クラス単位の保護者の皆様にも負担の少ない活

	動を行っていく。
⑭ 認定こども園教育・保育要領への対応	主体的に活動できる環境を工夫し、提供して行った。外部からの受け入れも積極的に行った。
⑮ 職員の資質・保育の質の向上	不適切保育に関する研修や自分の保育を振るかえることができるような園内研修を行っていった。園外研修に参加した職員が研修内容等も開示していった。
⑯ 保幼小中の連携	学校訪問は、校庭・トイレ・保健室の見学をさせて頂き、小学校の体験を行った。光輪会は学童の子ども達と接する機会が多いが、実際の学校に行く体験は学校を身近に感じられるため、子どもたち同士による成長の見通しは立ちやすいのではないかと感じている。小学校との連携も情報交換を密にできる活動を今後も進めて参りたい。
⑰ 防災・防犯意識の向上	毎月避難消火訓練を行うことや、防犯訓練を行い、緊急時の対応を訓練していく。
⑱ 保育指導内容検討委員会	当法人の保育指導内容を客観的に検討する、委員会を立ち上げ、子どもの主体性を育む指導内容の向上と、資質の向上を図るとともに、言葉がけに関する意識を高めていく。

4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

体験や経験することを大切に考え保育を行っていった。行事などは参集型となり行うことができてきたが、以前のような園全体で行うような活動は万が一感染症が発生してしまうリスクや、保護者の負担軽減を考えるとクラス単位の期間を区切った行事とするようにし

ていくことが望ましいと考えた。保護者の皆様もゆっくりと余裕をもって参加でき子ども

の成長の機会をご覧いただけたのではないかと感じている。

不適切保育や、危機管理の関しては職員会議や園内研修等でしっかりと職員間で情報の共

有と自己管理について学んでいった。しっかりと自分の保育を振り返ることをするように

してまいりたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員のより一層の資質向上	クラスの保育や自分の保育を振るかえることができおるようにディスカッション等も増やしていく。
教育・保育計画の編成	3施設の保育課程をさらに発展させ、光輪会の全体的な計画を検討し、新しく作成しなおしてまいりたい。特に行事のボトムアップを行ってまいりたい。
教育・保育内容	0，1，2歳児は引き続き、信頼関係を深める安心感、愛着形成を満たす保育を充実させ生きる力の土台作りを行っていく。幼児に関しては縦割り保育、アクティブラーニングの実践も浸透してきている。 出来る活動を積極的にどんどん増やしながら活動を展開して参りたい。

6. 評価項目の光輪会関係者評価

評価項目	評価
3－①	他の園等にも参加する機会があったが、光輪会の活動は狙いもしっかりしており感

	動する行事や教育保育を行っていると感じている。何のためにこの活動を行うのかもしっかり説明できていると思う。
3－②	活動の様子も写真や「あしあと」などいつでも見れるように工夫されている。教育保育内容の開示は保護者にも安心感を与えるものであると感じる。続けていていただきたい。
3－③	保育内容検討委員会など不適切な保育があったときや、怪我等があった時など内容を検討する委員会ができていて組織的に検討をしていることが伝わる。研修等も目的をもって行っているのではないだろうか。
3－④	地域とのつながるを大切に園の運営を行っていると感じています。いろいろな地域内の行事等にも積極的に参加されていて、近隣園も巻き込んだ交易な取り組みも行われているのが色々なところで聞かれています。小学校とも密接した連携を引き続き行って頂きたいです。
3－⑤	新年早々に起こった能登の震災や、いつ大きな災害が起こるかわからない状況です。引き続き子ども達の安全を守るべく努力して行って下さい。
3－⑥	裁判のお話等もありましたが、もちろん事故などが起きないように教育保育を行うのはもちろんのことですが、しっかりと小さな事故も検討して、大事故につながらないようにしていただきたい。過去のこともしっかりと反省をし、再度起こさないことに尽力してほしい。

7、光輪会関係者の評価総評

理事・監事・評議員の皆様には光輪会の活動を、資料や写真等を使い活動の方法や内容等をお話ししご意見を頂いた。

中長期計画などいろいろなビジョンを聞かせていただいた。特にこれからの教育保育制度

が少子化によりどんどん進んでいき、園自体が考えた運営を行い新たな提案をしていかなければならないことも理解した。こども達、保護者の方、園にとって最善の方法とは何なのか、
考えて最善の方法を検討していただきたいです。

活動内容な通年見させていただいたがどれも工夫をした行事を行っていた。入園したいと相談を受けることも多々あるくらい良い園であると話を聞くことが私たちもうれしく感じている。皆さんに親しまれ必要とされ、喜ばれる園であり続けていただきたいです。
職員の皆様のご努力に感謝申し上げます。

8、財務状況

別紙光輪会、資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表 参照

どの園も順調であった。和光なかよしこども園の借入金の30年間の返済を25年までに

短くするように、繰り上げ返済を行ってまいりたい。食育や子ども達の作物の作ることか

ら、収穫、食育までつなげた生きる力を培う教育保育の実践を行ってまいりたい。